

平成21年度公認普及員認定講習会要項

- 趣 旨 本、(財)日本テニス協会公認普及員認定講習会は(財)日本体育協会公認指導者資格認定事業の一環として開催する。
- 主 催 (財)日本テニス協会
- 主 管 関東テニス協会 (ホームページ <http://www.kanto-tennis.com>)
- 期 日 平成21年9月 6日(日) 9:00~19:00 講義、筆記テスト(日本大学芸術学部校舎)
9月12日(土) 9:00~19:00 実技、指導実習(以下アポロコースト)
9月13日(日) 9:00~19:00 実技、指導実習
9月14日(月) 9:00~18:00 実技、指導実習・基礎実技検定、指導実習検定
※講習内容はあくまでも予定です。変更になる場合がありますのでご了承下さい。
- 会 場 1. アポロコーストテニスクラブ(インドアコートを使用する予定です) 砂入り人工芝
千葉県長生郡白子町中里5357-1 TEL 0475-33-4051
2. 日本大学芸術学部校舎 講義室
埼玉県所沢市中富南4-21
- 宿 舎 サニーインむかい 直接宿舎にお申し込み下さい(基本的に相部屋となります)
千葉県長生郡白子町中里4369 TEL 0475-33-2133
9,300円(1泊3食)税、サービス料含む
- 受講資格 下記条件を満たしている者。
①受講年度4月1日満19歳以上の者。
②(財)日本テニス協会、または各都道府県テニス協会に所属し、認められた者。
③ITN自己査定でレイト6以上の方。(裏面を参考にして下さい)
- 募集人員 100名 参加者多数の場合は、各都県テニス協会推薦順位により選考します。
- 受講料 18,000円 (認定登録料12,000円は別途3年間)
- 申込方法 ①申込書 ②返信用封筒(1人1通。定形サイズの封筒に80円切手を貼り、宛先を書いたもの。)
- 申込み先 上記①②を締切日までに、下記都県テニス協会へ郵送して下さい。
東京都テニス協会 〒166-0002 杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4F
神奈川県テニス協会 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-18-2 井上スポーツ内
千葉県テニス協会 〒270-1435 千葉県白井市清水口2-1-16-1
埼玉県テニス協会 〒330-0042 さいたま市浦和区木崎2-29-15
群馬県テニス協会 〒371-0014 前橋市朝日町2-11-14
茨城県テニス協会 〒310-0803 水戸市城南3-9-320 マーヌ水戸第3 101号
山梨県テニス協会 〒400-0822 山梨県甲府市里吉1-9-8
栃木県テニス協会 〒320-0065 宇都宮市駒生町1632-1
- 申込締切日 平成21年7月10日(金)
- 講習内容 ●テニス実技講習・指導実習 ●テニス理論・ルール●筆記テスト ●実技・指導検定
- 持ち物 ①筆記用具 ②テニス用具一式 ③ルールブック2009年度版(1500円)
④新版テニス指導教本(3500円)
③・④は、受講決定後、詳細のご案内をお送りする際に注文をとります。早目に取り寄せたい方は、
日本テニス協会のホームページから個人で購入することも出来ます。
<http://www.jta-tennis.or.jp/>
- その他 ①詳細は締切後、受講決定した方に郵送で連絡いたします。参加料をお支払い下さい。
②本講習会の試験に合格し、登録を完了した公認普及員は、ｽﾎﾟｰﾂ指導員専門科目を免除されます。
③財団法人日本体育協会「スポーツリーダー」の資格保有者は、ｽﾎﾟｰﾂ指導員共通科目を免除されます。

スポーツ指導員資格について

スポーツ指導員は、**専門科目40時間**と**共通科目35時間**の講習を受け、合格しなければ資格を取得できませんが、上記①5.その他②③の様
に別の資格を取ることで、受講が免除される場合があります。本講習会に参加し、テストに合格された方は、公認普及員資格保持期間中(3年)専門科目が免除になりますので、共通科目を受講するか、スポーツリーダーの資格を取り共通科目の免除を受けるかどちらかの方法でスポーツ指導員の資格を取ることができます。共通科目及び、スポーツリーダーの資料は各自日本体育協会から取り寄せてください。制度については、日本体育協会ホームページに詳細が掲載されています。
ｽﾎﾟｰﾂ指導員共通科目についてのお問合せは下記まで
財団法人日本体育協会 スポーツ指導者育成部 指導者育成課 電話03-3481-2226
<http://www.japan-sports.or.jp> 資料の取り寄せ方はこちらに掲載してあります。

個人情報について

講習会に参加される皆様の個人情報を保護することは、当協会活動の基本であるとともに社会的責務であると考え、法令並びに当協会の定める個人情報保護方針に従い皆様の個人情報の保護に努めます。

○個人情報の利用目的

申込に関わる個人情報は、各都県テニス協会、関東テニス協会で管理し、本講習会に関する問い合わせ又は必要となる連絡事項の伝達に利用いたします。

上記の目的以外には利用いたしません。

キ リ ト リ

平成21年度(財)日本テニス協会公認普及員認定講習会申込書

ふりがな		性別 (○をつけてください)	男	女	
氏名		生年月日	年	月	日
現住所	〒 _____ 番 _____ 住所				
所属団体名	団体名 _____ 上記の団体は _____ 都道府県テニス協会に加盟している団体です。 (↑○をつけてください) (都道府県テニス協会に加盟していない団体は認めません。また、所属団体が無い方は受講できません。)				
所属団体住所					
自己査定レイト数					
屋間連絡先電話	携帯				

ITN	ITN比較	各国レイトイング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする
1	エリート		・ATP/WTAランキングの保持者、または可能性のある者 ・国際水準のトーナメントに参加し、主たる収入がトーナメントの賞金であるワールドクラスのプレーヤー ・大規模なプロトーナメントの経験がある					
2			・相手の弱点を分析し、見抜くことができる ・戦略とプレイスタイルを変化させ、プレッシャーの在る状況で自信を持ったショットが打てる。 ・通常、その国の上位ランキング者	・1stと2ndサーブがプレッシャーのある状況で打て、いつでも攻撃的に打てる。	・フォア、バック両サイドの予測力が ついている。 ・相手の準備動作、トス、バック・ スイング、身体の位置から手がかり をつかめる。	・プレッシャーのある状況で自身のある ショットが打てる。 ・フォアハンド、バックハンドで攻撃、逆襲、 防御を効果的にできる。 ・あらゆる種類のショットをプレーできる。	・スライス、またはドライブのアプローチができる。 ・ネットでの予測がよく、コートセンスがよい。 ・効果的にアングルを使い、あるいは深くプレー できる。 ・攻撃的なボレーができる。 ・スマッシュは、必ずウイナーである。 ・バックハンドオーバーヘッドスマッシュが強力。	・両サイド、そしてサーブのリターンで その場に応じて、上手くパスする。 ・2ショット・パッシング・コンビネーションを 効果的に使える。
3	上級者		・優れたショットの予測と優れたショットを有し、 安定性、あるいはゲームの基本となる特質 を持っている。 ・プレーヤーは、'試合巧者'、つまり、 パーセンテージテニスをし、サービス・リターン・ エースを必要とときに打て、あるいは、 ショットボールでサービス・リターンのエラー を引き出せる。	・サーブは、相手の弱点に打たれ、あるいは、 攻撃的な状況に展開するために、効果的に 打たれる。 ・信頼できるサーブの種類を持つ。 ・十分な深さ、スピン、そしてプレイメントで 弱いリターンを攻め、あるいは、次のショット を組み立てるための2ndサービスを持つ。	・攻撃的そして、オフ・ベースな サービスリターンを、コントロール でき、深く、スピンを混ぜて打てる。	・フォアハンド・ストロークは、コントロール、 深さ、スピンを併い、強力。 ・攻撃的な状況を作り出すために フォアハンド・ストロークを使う。 ・安定した攻撃ショットとしてバックハンド・ ストロークを使う。 ・ほとんどのショットが十分な深さと、方向性 を持つ。 ・タッチショットを習得している。 ・スピンの種類がある。	・アプローチショットは、ベースと高い有効性 をもって放たれる。 ・ほとんどのボレーは、深さとベースと方向性 を持って打球される。 ・深い、難しいボレーをプレーできる。 ・チャンスがあれば、ボレーは、ウイナーとして 打球される。 ・スマッシュは、どこからでも打てる。 ・安定性のあるミッドコートボレーを打球できる。	・パッシング・ショットが安定し、ベースと 高い有効性を持って、パッシング・ショット を打てる。 ・攻撃的なロブが打てる。
4			・安定したプレーで、効果的に加速、スピンを かけ、ベース配分ができる。 ・優れた予測、正しいフットワークができ、弱点を よく、カバーできる。 ・ショットの深さをコントロールでき、相手に応じて ゲーム・プランを変化させれる。 ・難しいショットに対して、不確かであるが、 1stサービスのパワーと正確性と2ndサービス のコースを打ち分けれる。 ・ダブルスにおいて、攻撃的なプレーができる。	・攻撃的なサーブを持ち、ダブル・フォールが 少ない。 ・特に1stサーブのとき、攻撃的な組み立てを するために、パワーとスピン・サービスを 効果的に使える。 ・2ndサーブがよい位置に深く打つことが できる。	・頻りに攻撃的なリターンができる。 ・ダブルスにおいて、普通にベースを 変えることができる。 ・チップとドライブができ、チップと チャージができる。	・非常に安定した(自信を持つ) フォアハンドストロークを使う。 ・スピードとスピンを効果的に 使う。 ・深さのコントロールはあるが、 あわてたり、プレッシャーが かかると、オーバーヒットする。 ・中程度のショットでは攻撃的。 ・バックハンドは、方向と深さを コントロールできるが、プレッシャー を受けると崩れる。 ・かなりスライスができる。	・アプローチショットは、深く、コントロールされ、 打球される。 ・一連の混じったボレーを扱える。 ・バックハンドボレーで、深さがあり、方向の コントロールが良い。 ・ポイントを決めるためにボレーとスマッシュを 安定して打球できる。 ・タッチショットを習得し、フットワークに優れる。 だが、最も一般的なエラーは、オーバー・ ヒッピング。	・防衛的、そして攻撃的なロブを打てる。 ・かなり高い確率でネットプレーヤーを パスできる。
5			・優れた安定性(確かなグラウンド・ストローク) ・普通のショットでフォアハンド、バックハンド 両サイドの方向と距離のコントロールができ るが、ラリーは、我慢できなくてミスする。 ・ロブ、スマッシュ、アプローチショット、ボレーが 使え、時々、成功する。 ・コートカバリングを習得中で経験をつみ、戦術 に注意を払うが、まだ優れたパーセンテージ テニスをプレーできない。 ・時々、サーブのとき、サービスリターンのエラー を引き出せる。 ・ダブルスのチームワークが理解できる。	・1stと2ndサーブのプレイメントがよい。 ・1stサーブが、しばしばパワフルである。 ・スピンを時折、使うことができる。	・信頼できるサービス・リターンが できる。 ・シングルスで、深いリターン、 ダブルスでいろいろなターンが できる。	・フォアハンド・ストロークは、安定し、 中程度のショットは深さとコントロール できるが、プレッシャーのあるとき、 コースの配分ができない。 ・バックハンド・ストロークは、中程度の スピードで安定して、ボールの方向性が よい。 ・スピンを習得し、トップスピンとスライス 両方を打てる。	・ネットへ攻撃的なショットで前進する。 ・フォアハンド・ボレーの深さとコントロールがある。 ・バックハンド・ボレーの方向性はいいが、一般的に 深さを欠く。 ・両サイドのワイドのボレーと低いボレーを打球 できるように習得中。 ・簡単なスマッシュを処理できる。 ・ダブルスのボレーが打てる。 ・ポイントを決め始める。 ・相手の弱点に打球する。	・難しいショットに対、し防衛的なロブ を打ち、攻撃的なポイントの組み立て を行う。
6	中級者		・普通のショットの方向コントロールの安定性 を持った、改良されたストロークを習得中だが、 深さと、変化がまだコントロールできない。 ・コートカバーが上達しているが、前に出る時、 まだためらいがある。 ・ダブルスのチームワークを習得中。	・コントロール・サーブと、しばしばパワーサーブ を開始。 ・スピンを習得中。	・中程度のベースで方向性の コントロールのある安定した サービスリターンができる。	・フォアハンド・ストロークは、極めて安定し、 中程度のショットで変化をつけ、方向性が 良く、スピンもプレーできる。 ・バックハンドは、中程度のショットで 方向のコントロールをもって打球される が、高く、そしてハードショットに対して、 難があり、防衛的な返球となる。 ・バックハンド・ドライブカスライスの 一方を極端に使う。	・アプローチショットを習得し、ネットに出るチャンス を探し始める。 ・より攻撃的なネットプレー。 ・安定したフォアハンドボレーを持ち、バック ハンドボレーのコントロールはできるが、攻撃的でない。 ・ボレーでポイントを決め、ハーフボレーをプレー することは難しい。 ・パッシングショットは少しカバーでき、かなりの フットワークができる。 ・届く範囲の安定したスマッシュ。	・速いベースのショットで、 かなり安定したロブを打てる。 ・基本的なパッシングショット能力を 習得するが、バックハンドのパスが 難しい。
7	中級者		・普通のベースのショットにかなりの安定性を もつが、全てのショットをうまくプレーできず、 方向性、深さ、パワーのコントロールを欠く。 ・シングルス試合は、ベースライン主体に 行い、最も一般的なダブルスのフォーメーション は、一人が後衛、他の一人が前衛。	・リズムを習得中だが、パワー・サーブのとき、 不安定。 ・2ndサーブは、1stサーブよりもかなり遅い。	・かなりの安定性を持って大部分が コートの中央にリターンできる。	・フォアハンドは、方向性に集中し、 かなりの安定性を持つが、深さの コントロールに乏しい。 ・バックハンドは、中程度のショットで かなり安定し始め、多くのボール がコートの中央に方向づけられる。	・プレーが要求するとき、ネットにアプローチするが、 それを実行するために習得が必要。 ・安定したフォアハンドボレーを持つが、バック ハンドボレーの安定性を欠く。 ・ローボレー、ワイドボレーが難しい。 ・時々、ポジションから外れ、大きすぎるスイング をしてしまう。	・中程度のショットでかなり安定したロブ を打ち、ドライブの変わりにサービス・ リターンにロブを使う。
8	レクリエ ーショナル プレーヤー		・ボールがどこに飛ぶか判断することを学ぶが、 コートカバリングは、まだかなり習熟する必要。 ・同じレベルのプレーヤーとプレーするとき、 このプレーヤーは、かなりの安定性を持って、 スローベースのショットラリーができる。 ・ダブルスのとき、初歩的なダブルスの ポジションを維持できる。	・フルスイングを試みる。 ・1st、2ndサーブのベースの違いがほとんど ない。 ・スローベースでボールをインプレーできる。 ・安定したトスが必要。	・スローベースのサーブに対しリターン ができる ・短いフォロースルーが多い。	・フォアハンドのフォームが上達する。 ・プレーヤーは、中程度のベースのショット に対し、構えられ、準備される。 ・バックハンドグリップと準備の問題が、 明らかで、プレーヤーは、バックハンド・ ストロークよりもフォアハンド・ストローク を好んで選択する。	・必要に迫られたときだけ、ネットにアプローチする。 ・ある程度の自信を得るためにネット練習の時間が 必要。 ・特にバックハンドサイドのネットでの自信がなく、 バックハンドボレーをプレーするとき、ラケット面の フォアハンドサイドを使ってしまふ。 ・スマッシュのコンタクトができる。	・ロブを習得始めるが、コントロール に乏しい。 ・相手のバックサイドにだけロブを打つ 傾向がある。
9			・コート上での経験が必要。 ・ストロークは、時々、成功するが、ストローク 力の弱さは、明らか。 ・シングルス、ダブルスのプレーで、基本的 ポジションは取れるが、さらによいポジション をとる必要があり、まだ、ベースラインでの プレーを好む。 ・このプレーヤーは、試合のプレーに没頭する。 ・基本的なルールとスコアのつけ方を学ぶ。	・サービスの動作が滞りなく、さらに コーディネーションが必要。 ・頻りにダブルフォールをする。	・無駄なエラーを減らすために安定 したサービスが必要。 ・フォアハンド・ストロークでリターンの 大部分を行おうとする。	・フォアハンドは、より完璧なスイングと より方向性への集中を必要とする。 ・バックハンドでプレーすることを避け、 バックハンドサイドの技術的な問題(例、 グリップ、スイング、コンタクト) を経験する。	・アプローチショットとネットプレーに慣れていない。 ・もっぱらフォアハンドボレーに専念し、スマッシュの コンタクトに問題がある。	・初めてロブを打つのが難しい。 ・パスに慣れていない、相手の正面 に向かってボールを打ってしまう。
10			・このプレーヤーは、正式な大きさのコートで、ITF公認のボールを使用して、競技としてのプレー(サーブとリターン、ラリー)ができるようになる。					
10.1			プレーヤーは、動き、コントロールしてラリー ができる。					
10.2	初心者		プレーヤーは、来たボールに対して、きちっと 打球しながら、簡単なテニスのスキルを 行えるが、動きと、コントロールしてラリー はまだできない。					
10.3			プレーヤーは、テニススキルの育成の初期 段階で、単純なテニスのコーディネーション/ エキササイズを初めて学ぶ。					
ITN10. 1からITN10. 3までのカテゴリーは、通常緩和された環境、つまり、小さいコートでやわらかいボールを使用する、 あるいは適切な、プレーヤーに合ったラケットを使用する環境でプレーすることを含む。								